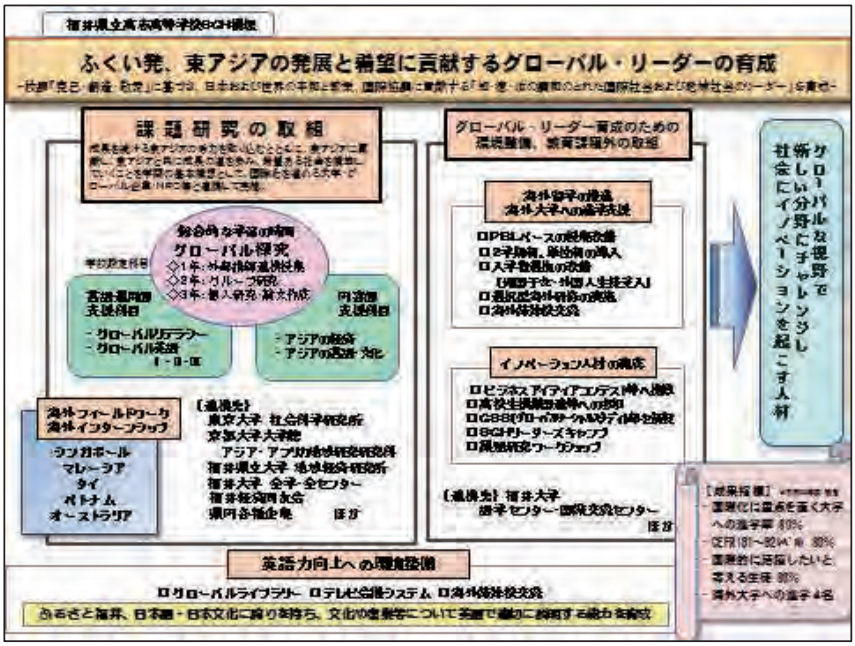
福井県立高志高等学校

ふくい発、東アジアの発展と希望に貢献する グローバル・リーダーの育成

【構想の概要】

本校の校訓「克己・創造・敬愛」に基づき、日本及び世界の平和と繁栄、国際協調に貢献する「知・徳・体の調和のとれた国際社会及び地域社会のリーダー」を育成する。

「克己（自律した）・創造（問題を解決できる）・敬愛（他者を理解し尊重する）」の校訓に基づき、「ふるさと福井、日本語・日本文化に誇りを持ち、グローバルな視野を持って新しい分野にチャレンジし、社会にイノベーションを起こす人」を育成すべきグローバル・リーダー像として掲げ、東アジア諸国の経済や生活文化等に関する課題研究を重視した教育課程の研究開発、英語力・グローバルマインド向上の取組、国際交流活動等により、地方の公立高等学校によるグローバル・リーダーシップ教育モデルを構築する。



【SGH・SSH学校設定科目等の比較】

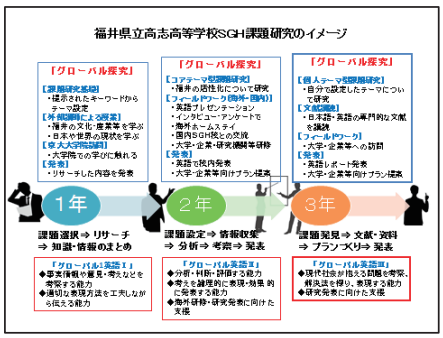
SGH科目名	単位数 1年	2年	3年	目標・内容等	SSH対応科目
グローバル探究	2	1	1	○1年次：連携授業 7時間1単元で課題探究の基本的なプロセスを学習 ○2年生：グループ別課題研究 ○3年生：個人研究	サイエンス探究
グローバルリテラシー	1			○日本の文化・産業等を説明する国語力育成 ○情報の収集，分析，整理等のスキル養成	サイエンスリテラシー国語
グローバル英語Ⅰ	3			○日本の文化・産業等を説明する英語力育成 ○概要・要点把握，情報伝達の英語力育成	サイエンスリテラシー英語Ⅰ
グローバル英語Ⅱ		3		○情報・意見等を述べる英語力の育成 ○社会科学的な内容の英文理解，概要把握等	サイエンスリテラシー英語Ⅱ
グローバル英語Ⅲ			3	○まとまりのある英語で表現する力の育成 ○社会問題，時事的なテーマの英文理解，情報整理等	サイエンスリテラシー英語Ⅲ
アジアの歴史・経済		1（選択）		○東アジアの歴史・経済・社会等について学習	サイエンスリテラシー国語
アジアの自然・文化		1（選択）		○東アジアの自然環境・生活文化・工芸等について学習	

※本校では各学年８０名がＳＧＨ対象生徒。それ以外の生徒（各学年約１８０名）が全員ＳＳＨ対象生徒となる。また「アジアの歴史・経済」「アジアの自然・文化」は２年次の「グローバル探究」に必要な知識を補完する目的で実施する科目である。

課題研究について

本校では，1年次に課題研究の基本的なプロセスを学習するために，7時間を1単元とする授業を3ラウンド行っている。各ラウンドでは核となる3・4時間目に大学・企業等から講師を招いて「連携授業」を実施する。講師には事前に課題を提示してもらい，1・2時間目にその課題に取り組む。「連携授業」後の5・6・7時間目にまとめや事後リサーチおよびその発表を行う。

2年次にはグループによる通年型課題研究に取り組む。初期はテーマを限定せずに自由に課題研究を行ったため，テーマが広範囲になりすぎて研究が深まらなかった。そこで，指定3年目より福井大学および福井経済同友会の協力を受け，県内企業から出される課題に取り組み提案を行うビジネスチームと，東アジアの人々に希望と幸福を届ける課題研究を行うホープ＆ハピネスチームの2チームを編成した。その結果，研究内容の深まりが見られるようになってきた。今年度は，これらを再編し，「世界に発信!!　高志高生が創る福井の未来」を核とした「コアテーマ型課題研究」に取り組んでいる。

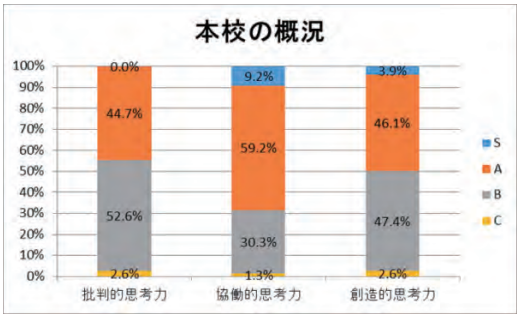


プレゼン時に考案したお土産の試作品を配付

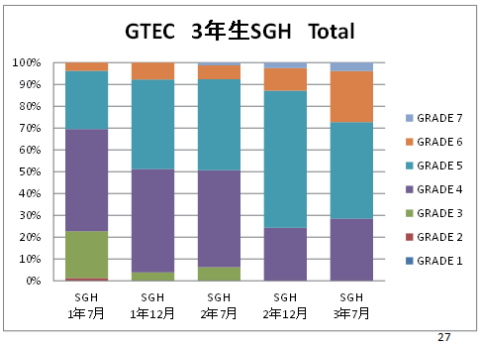
成果と課題について

本校では成果を図るテストとして，「GPS－Academic」（思考力・表現力等）および「GTEC for STUDENTS」「GTEC Speaking Test」（英語力）の受験を実施している。また，各種の能力の自己診断として「高志高生の意識・実態調査」を年2回行っている。

その結果を分析すると，本校生徒は「協同的思考力」および「創造的思考力」において全国平均を大きく上回るＳ評価を獲得している。特に「協同的思考力」においては本校受験者の約10%の生徒がＳ評価を得ており，「グローバル探究」におけるグループでの課題研究がこの結果につながっていると考えている。



また，平成29年度3年生ＳＧＨ生のGTECの経年変化を見ると，3年次7月には約30%の生徒がトータルでグレード6以上となっており，着実に英語力が伸びていることが分かる。



一方で，講演会や発表会等で生徒からの質問などが少なく，積極性や質問力の面で課題が残る。また，既存の教科・科目におけるＰＢＬ型学習の導入による授業改善を行っているが，それによって生徒の意識がどのように変容したかの把握をすることも急務である。

グローバル・リーダーズ・キャンプ

本校では海外の大学生をメンターに招き，英語を用いて様々なテーマについてディスカッションやプレゼンテーションを行う活動を県内外の高校とともに実施している。今年度は12月に実施を予定している。